

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年9月14日】第58号



避難訓練

9月4日(金)に、本校では避難訓練を行いました。一斉臨時休校の影響もあり、今年はまだ安全教育が十分にできていませんが、まずその第一歩として、それぞれの教室からグラウンドに避難する練習をしました。3階の理科室から発火という想定で、緊急放送を合図に、子どもたちはマスクの上からハンカチで口を覆いながら先生の指示にしたがってグラウンドに移動し、整列、点呼を行いました。階段を降りるときも、並ぶ時も、子どもたちの表情は真剣で、ふざける子どもも見あたりません。新型コロナウイルス感染防止の観点から整列の間隔は広く取り、また、熱中症防止のため校長講話は手を洗って教室に戻ってから、など変則的な点もありましたが、合わせて放送機器の点検なども行うことができました。

農大稲花小は、火災だけでなく、地震そのほかの災害を十分に考慮して建築された新しい校舎です。プールを満たす水は防火用水にも使われます。校内テレビ放送で行った校長講話ではまず、農大稲花小が安全安心な場所であることを説明しました。その上で、台風、大雨、大雪、洪水、地震などの災害、思いがけない火事や事故などから身を守ることの大切さを話しました。とくに、「備えあれば憂いなし」とフリップで示し、普段からよく考え準備・練習しておくことの大切さを伝えました。低学年の子どもたちですが、その心の中に「備えあれば憂いなし」が残ることを期待しています。



秋の味 シャインマスカット

昨年7月、農大稲花小一年生全員に桃をご寄贈くださったのは東京農業大学卒業生である手塚千広様。山梨県南アルプス市在住の手塚様から、今年はみごとなたくさんのシャインマスカット

を頂きました。子どもたちには、「私ども南アルプス市の実りが、子どもたちの輝きに繋がれば嬉しいです。自然との育みにより、チャレンジを続ける農家の皆さんの思い、汗して結実することの素晴らしさも伝えたいところです。我が母校東京農大の精神、いつも冒険心を胸中に、明るく楽しく、笑顔で過ごしましょう。」というメッセージをいただいています。9月7日(火)の給食の時間、それぞれのお皿にシャインマスカットの甘くて大きな粒が配られました。栄養教諭からも説明があり、一年生と2年生、全部の子どもたちの笑顔がいっぱいの給食となりました。

日本のユネスコパークにも登録され、山登りや、フルーツ狩り、温泉と様々な楽しみのある南アルプス市。新型コロナウイルスが収まったら、訪ねてみたいですね。



入試説明会もオンラインで

9月12日(土)に、Zoomウェビナーを利用したオンライン入試説明会を行いました。9時からと11時からの2回開催でしたが、たくさんの方々に参加していただいたことに感謝しています。2021年度募集要項(詳細)が本校のHPで発表されたことを受け、本年度の主な変更点について1時間弱にわたってご説明しました。新型コロナウイルス感染防止のため、事前面接もオンラインとするなどの変更をしておりますが、受験をお考えの皆様には、改めて2021年度募集要項(詳細)をご覧くださいようお願いします。

南極教室をお楽しみに

南極教室の開催日は9月15日(火)。農大稲花小の体育館と南極とを衛星でつなぐ素晴らしい企画です。当日に来校される田留健介さん(61次南極観測隊員)は、東京農大の卒業生で、校長が論文執筆のお手伝いをしたご縁から、南極教室のご縁を頂きました。南極から子どもたちに話をしてくださるのは、医師でもある観測隊員の方です。子どもたちには南極基地にいる観測隊員への質問をすでに募り、南極にもお届けしてあります。誰の質問に答えてもらえるのか、これも楽しみですね

校長 夏秋 啓子